

平成28年度 PTA指導者研修会 実施要項

PTA指導者支援事業（東部会場）

1. 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題をふまえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各单位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

2. 主 催 鳥取県PTA協議会

3. 期日・会場 平成 28年 6月11日(土) 9:30~12:00 国府町コミュニティセンター(旧国府町中央公民館)

4. 参加対象 東部地区 小・中学校 各单位PTA役員 2名程度 (毎年実施している本研修に未参加の方が望ましい)

5. 日 程

9:00	9:30	10:00	10:10	12:00
受付	開会行事 施策説明	休憩 移動	分 科 会	閉会

6. 研修内容

(1) 全体会

あいさつ(主催者)

施策概要説明

鳥取県教育委員会 東部教育局 指導主事 広富隆史 氏
鳥取県教育委員会 人権教育課 係長 寺谷孝志 氏

(2) 分科会

① 第一分科会(PTA活動活性化分科会)

テーマ: 「広報紙の作成手法」 → 事例発表3校+講演(新聞社)+討議

発表者: 桜ヶ丘中学校PTA

H27年度 県PTA会長賞受賞

醇風小学校PTA

H27年度 新日本海新聞社賞受賞

世紀小学校PTA(予定)

H27年度 小学校の部努力賞受賞

講 師: 新日本海新聞社 常務取締役 田中仁成 氏

内 容: 県P優秀校による取り組み事例の発表と作品講評、質疑応答。

② 第二分科会(メディア対策分科会)

テーマ: 「LINE紹介と子どもがネットを利用する際の注意事項」 → 講演+ワークショップ

講 師: LINE株式会社より派遣

内 容: LINEを利用されていない方にも理解できるリスク対策の講演と、子どもをネットトラブルから守るための有益となる情報や注意すべきポイントを学ぶ。

③ 第三分科会(人権教育力向上分科会)

テーマ: 「子どもの イライラはどこに向かうの(社会的支援)」 → 参加型演習

講 師: 鳥取県教育委員会 人権教育課より派遣

内 容: いじめ加害に影響する要因のひとつである、子どものストレスについて考える。いじめに向かわせる要因は何か? 子どものストレスを軽減することが、いじめの未然防止につながることを理解し、日常生活でできることに取り組もうとする態度を養う。

7. その他

駐車場は国府町中央公民館と国府中学校を借用予定です。駐車場係の誘導にご協力ください。また、台数に限りがありますので、なるべくお乗り合わせでお越しください。

発表校◇◆桜ヶ丘中学校◇◆

年に3回B4二つ折り平成20年からは表紙裏表紙はカラーになった。

広報活動や情報が盛り沢山のHPを作っている。

文化部が作成・・・学校を知る→部会で細かい相談をする→初稿を部員全員で行う

表記の統一や誤字脱字に気を付ける

自分が知りたいことや読み易いこと、を心掛けた。

子ども中心の活動を載せる。

分かり易く、親しみ易い広報紙。

地域や校内の委員会の連携が必要である。

楽しい思い出が残ったのは良いPTA活動であったと思う。

講評

PTAの悩みや困難をもっと紙面に全面に出すと良い。

発表校◇◆醇風小学校◇◆

醇風PTAウィキペディアコーナーを作って、今更聞けないことを載せている。

保護者のマナーについて、アンケートを取って、行事等の参加率を上げることに繋げ、みんなで考える問題を紙面に載せている。

平成8年から続いている連載コーナーがある。

六年生は子どもの似顔絵を保護者が書く。

毎回700部配布、235戸。

作業の流れ・・・部長副部長が大まかなレイアウトを決めて、学年別に担当頁を決める。

心掛けていることは、平成25年に広報マニュアルを作成し、うろうろすることを防ぐ努力している。

今年度は、男性はなぜ広報紙を読まないかを取り上げたい。講評

講評

実態を載せる、という広報紙は関心を持って読んでいただけるのではないか。本音で思っていることが、出ているのは良い。地域の皆さんとの取組などの特色が出ていて良い。

発表校◇◆世紀小学校◇◆

今年度創立50周年

第一号の紙面から全て残っている。

年4回発行。

P T A活動を活発にする、という信念のもと作成している。
心掛けていることは、多くの会員が登場する。報告だけでなく、問題提起もしたい。
地域とのつながりを大切にしている。

部会の在り方についても、部員が楽しく、意見が出しやすい会議、作業や雑用はなるべく
先生の力を借りずに進めたい。

学校役員も紹介して、知ってもらう。質問を考えて答えてもらう。
構成に時間をかけすぎて、紙面になるころには季節外れになることが反省点。

講評

今の時代には難しいのかも知れないが集合写真の写りが、残念な箇所があった。
各行事に必ず保護者のコメントがあって良かった。
写真のメリハリを付ければ格段に見栄えがする紙面になる。

全体講評

広報誌の作り方を配布しているので参考にされてください。<別紙参照>

子どもの活動をP T Aとしての視点で、コメントがあるのが良い。
教育は新聞でも、読者の関心の高い記事である。
広報紙から、各学校の特色を感じ取ることが出来るのが良い。

各学校とも編集方針を立てて、フェイスブックに上げるような感覚で作成すると
今の時代にマッチするのかなと思う。

市販の冊子やフリーペーパーを参考にすると良い。
読みにくい冊子は、レイアウトが良くない。
読み易い、見やすい冊子はレイアウトが良い。

レイアウトが定型ではないのが良い。訴えたいことがよく分かる。
表紙のレイアウトのインパクトがあれば、アピール力がある。
P T Aの本音が出ている部分等、読む側として知りたいことを大きく載せても良い。
表紙の一人の綱引きの表情だけで、学校がわかる。
表情が見える紙面がよいが、近年は個人情報等の面で難しいかも知れない。
アンケートであるとか、保護者の本音がどンドンでるような紙面が理想ではないか。
アンケートは是非、見開き等、大きく載せてほしい。
今日のこの話でも、1 ページ作れると思う、参考になる部分と参考にならない部分を

記事にしても良い。

記事に困ったら、〇〇先生に日ごろの疑問をインタビューする等の工夫もできるだろう。

写真ではアップや引きの写真や縦や横を入れると変化があって良い。

広めに撮って、たくさん載せたいところだが、一点に絞るとインパクトがある。

空白の美、空白があると読み易いレイアウトになる。

文字ばかりのコーナーは、背景に色を付けて、読み易くする。

記事に悩んだら、タイムリーな方にインタビューして載せるのがよい。

取材に出かけて、情報を得た紙面は読み手に伝わりやすい。

色々な声を取り上げて、それを紙面に載せることが出来ればよい。

2016/06/11

楽しいPTA 広報誌の作り方

1. PTA広報紙(誌)、一体何を作ればいいのか

PTA活動の内容を知らせ、より関心を持ってもらい、意見を出したり、活動に役立てたりするために必要な情報を提供するものだよ。学校の広報紙じゃないよ。

2. 編集方針と企画内容

まず編集方針。1年間、どのような内容載せていくか、PTA・学校行事計画はどうなっているか、年間発行計画をたてる予算と内容に応じて体裁や印刷の形態を考えることが大切だよ。年間テーマを設けるのも一案。例えば、父親の参加、子育て支援、自由研究、宿題など…。いじめ問題、スマホとの付き合い方、先生の評判の本音など…本音の企画・特集などの読み物があると関心が高まるよ。連載モノ(地域や学校の歴史、古文、ことわざなど)もあるとホッとするね。

3. レイアウト

詰め込みすぎは読みにくいよ。記事、見出し、写真をバランスよく(安易な写真の使用や不要な記事、当たり前の見出しに気をつけよう)。見出し、写真の大きさなどは内容の価値判断で差を付けよう。過剰な平等意識は持たないことも必要。形式的平等よりも実質的平等。段数の変化や囲みやケイだけでも紙面に変化が出るよ。

4. 原稿と取材

依頼原稿は早めをお願いする。原稿と取材については、マニュアルを用意した方が楽。文字数や行数もある程度把握して。5W1H。写真はアップが基本、遠くから撮らずに近くに寄る。撮影の角度を考える。

5. 決まりごと

紙面で必要とされている最小限のこと。編集者、発行者の明示。後記などで個性を出したいね。わかりやすい表現を心がける。目次もあると優しいね。最近はスマホなどのレイアウトも人気だよ。数字・名前などには、特に間違いがないか気をつけることも忘れないようにね。

平成 28 年度鳥取県 PTA 指導者研修会 (東部地区)

第二分科会 (メディア対策分科会) 概要

1 テーマ

LINE 紹介と子どもがネットを利用する際の注意事項

2 講師

LINE 株式会社 浅子秀樹氏

3 LINE について

(1) LINE の特徴

- ・LINE はクローズドコミュニケーションツールであってオープンツールではない。
- ・きっかけは 3.11 (東日本大震災) で、人と人のつながりをライン上で実現出来ないかと
- ・既読表示機能、写真送付、スタンプ送信可能

(2) 既読機能

- ・子どもたちの中では、既読を通じてトラブル
- ・いわゆる無視問題は、日本では問題になっているが海外では問題視されていない。電話すれば良いという考え方があるから。日本人のコミュニケーションは律儀。
- ・機能を無くせばよいか？ ⇒ はやり便利な機能であるため、その意見は少数。

- ・災害時には役立つ。安否確認も可能

(3) 写真

- ・不適切な写真を共有すると、その写真が外に出るなどの問題が発生する。
- ・子どもにスマホを与える = 写真を撮るなは不可能
- ・子どもに判断能力、リスク認識を持たせることが重要だが、中学校で著作権のことを教えることはない。であるなら、与えた親にその責任があるのか。

(4) スタンプ

- ・子どもたちはスタンプを何個も送る（10も20も）。大人はしない。
- ・かまって欲しいとか、盛り上げ感が出せるが、嫌がらせもある。
- ・大人にはわからない感覚か。

(5) グループトーク

- ・1対1なら自分がわかれば終わり。グループトークは、自分が終わっても、他の人が続いている限りは終わりではなく未読となる。
- ・朝起きて未読件数が500件。これがもし会社であったらどうなるか。子どもはそんな感覚。
- ・ルールがあれば良い。例えば、夜10時以降は使わないとか。そのルールがあればグループトークは終わる。

(6) 位置情報

- ・就学旅行時に迷子になって、位置情報を先生に送ることで会えるということも可能

(7) タイムライン

- ・よく事件が発生するのがタイムライン
- ・リアルタイムのツールではなく、直接的に相手を必要としていない。
- ・公開範囲を設定することが必要

(8) 友だちリスト

- ・自動追加機能で友だちになれる。電話帳情報とマッチングさせている。
- ・逆に言えば、つながりたくない人ともつながるリスクがある。

4 利用実態とその対策について

(1) 利用実態

- ・高校生 95%、中学生 59%、小学生 37%と急速に伸びている。
- ・高校生については、スマホなしでは高校生活ができないレベル。
- ・時期的には2～3月ごろに所持。受験後に親にせがむ、入学祝いなど。
- ・この使い始めの時期が大事。使うときのリスク意識や使い過ぎなどを理解させること。これがなければ危険な状態。親がこれをどう教えるかということ。
- ・今は中3よりも中1のほうが所持率が高い時代。生まれながらにアイホンやアイパッドがある時代。小学生は親のスマホで、高校生は自分のスマホで簡単にネットにつながる。
- ・アイホンタッチや音楽プレーヤーでもLINEは可能。音楽プレーヤーを買い与えたつもりが、実はLINEやネットに使われていたという話はよくあること。

(2) 利用時間

- ・中3から高1、小6から中1が一気に伸びるタイミング

(3) LINEを利用して嫌なこと

- ・知らない人からの友だち追加、長時間トーク、スタンプ連打、深夜トークなどが上位
- ・いじめ ⇒ グループトークから一方的に外されるということはかなり低い。これは、コミュニケーションする中で、トラブルを起こしたくないという意識があるから。子どもなりのリスクマネジメント。
- ・嫌なことがあっても、何もしていない人がほとんど。だれにも相談していないという実態。このこと自体も問題。

(4) 対策

- ・現実世界での道徳心を育むこと
- ・利用開始時のコミュニケーション方法を理解すること
- ・子どもが相談できる環境づくり

(5) その他

- ・いかに安全に使わせるか

- ・システム上では、18歳未満は一部利用不可とすることが可能。そのためには、子どもが使う形態は、購入時に使用者を子ども名義にすること。親名義だと制限が利かない。
- ・ヒューマン的には、制限をかけても地下に潜るか他のサービスに移行するだけ。最終的には、子ども、親、先生の意識。いかに賢く使うよう知恵をつけてあげることが重要。
- ・常識モラル、日常モラルを身につけること。カギは情報モラル教育。

(6) 啓発の考え方

- ・講師から生徒への知識教授型授業 ⇒ 「生徒主体」型の授業へ
- ・トラブル事例の例示 ⇒ 「自分事」として考えられる素材の提供へ
- ・ルールをつくる ⇒ 「考える」こと重視

(7) LINEの取り組み事例

- ・トラブルの時には、加害者、被害者、傍観者がいる。
- ・悪口が飛びかう雰囲気を変えるスタンプを配布

5 ワークショップ体験

- ・カードを使ってグループ討議
- ・自分との考え方、感じ方の違いを認識
- ・考え方や感じ方が違う状況で、そもそもLINEで意見が合致するはずがない。ただし、そのことを理解するとしないとでは結果が違う。
- ・嫌な言葉は、人によって感じ方が違う。相手の嫌がる言葉が自分の嫌な言葉とは限らない。
- ・文字だけで伝えると感情が伝わらないので誤解が生じやすい。スタンプは、ある程度有効なツール。

1、学校区分	小学校	77	中学校	36	その他	1	合計	114
2、参加分科会	第1分科会	33	第2分科会	39	第3分科会	42		
3、分科会テーマ	良い	95	大体良い	13	あまりよくない	0	無回答	6
4、内容活用	是非	43	検討	67	活用は難しい	3	無回答	1

第1分科会の回答理由

- 広報紙作成のポイントが解かりやすく参考になった。
- 内容検討に悩みもあり保護者へのアンケートをしてみようと思った。
- 他校の広報紙を見ることで幅が広がった。
- 思っても見なかった視点を考え広報紙に対する思いが変わった。
- 写真に関して顔が載せられない環境もあるが広告の仕事をしていた時を思い出した。
- 広報部活動の参考にしたい。
- 各学校の良い事例などの取り組みがあった。
- 今までの広報紙づくりとは違った切り口が流石プロだと思った。
- 参考に出来そうなことが多く、自校の活動を振り返る機会を頂きました。
- 広報紙を作成したばかりだったのでもっと早くこの研修を受けたかった。
- 問題定義がとても良い。
- 予算があれば拡大したい。
- 広報部活動に執行部が入っていないのでまずは勉強したことを伝えたい。
- 人材研修に関心があり制度を活用したい。
- インタビューや対談なら労力が少なく済みそう。
- 自校と他校では予算の差があまりに違い過ぎ活用は難しいが心構えなど為になった。
- 活用するには先ず検討して意見を出し合いたい。
- 学校の規模や周辺環境に応じて作り方は様々ニーズに応じた工夫が必要だと分かった。
- 地域活動も広報にのせ役員や地区子連に相談したい。

第2分科会の回答理由

- 持っている家庭は少ないが利用する時期が必ず来るので事前に教えていきたい。
- 親子とも便利なツールとしか思っていないのもっと勉強が必要だと考える。
- メディアとの付き合い方をPTAで考え、ワークショップは子どもと行いたい。
- 子ども向けでなく保護者を対象に出張講演してほしい。人権教育にも使えそう。
- 高校時に問題が起きているので未然に防ぎたい。
- 利用モラルを知るいい機会だと思う。
- 知らなかったことが知れたので広く教えたい。
- 研修担当に相談したい。
- ワークショップは子どもが考えるきっかけとなるのでいい取組みだと思う。
- 個人では決められない。(今後の検討について)
- LINEということのみではなくコミュニケーションを主に置いた研修を考えたい。
- 子ども・保護者で考え方を共有したい。
- ワークショップは楽しい。
- 個人情報など学ぶことがあるので子どもたちにも知ってほしい。

- 使う側のルール作りを話し合い決めていく必要がある。
- 全くなくすことはできない。
- 多くの保護者が参加出来る研修にするためにテーマなど検討してみたい。
- LINE（株）が啓発活動を全国で行っていることを知りました。
- LINEは子どもたちも多く使うし人を傷つけないように考えさせたい。

第3分科会

- わが校でもいじめがあり子どもたちの関係学校対応が不安、PTA全体で考えたい。
- 子どもの事を考えながら話が出来た。
- いじめをさせない取組みを活動していることに驚き
- 子どものイライラが結構重要だとおもいました。
- 日ごろからできることをしたい。
- 人と沢山話ができ、考えたり楽しめた。
- 紙とペンを利用すると話しやすい。
- 一人一人の意見を回すのではなく、話しにくい方でも意見が出しやすかった。
- 参加型の研修で楽しく意見が言えてよかった。他の方の意見も参考になった。
- 「いじめない子ども作り」という考え方はなるほどと思いました。
- 同じ悩みを持つ親同士で話し合いすっきりとした気持ちになった。
- 聞いて終わりではなく参加型でよかった。
- 単Pでも同様の研修をしてほしい。
- 活発に意見交換しながら自分の事を振り返ることができる。良い研修だった。
- 他の保護者にも同じ取組みを行う事で学校・家庭でのすごしかたが変わるように思えた。
- 和やかに話ができ、日ごろの話が出来たのでよかった。
- 発表がないのが良かった。
- 思春期に入る子どもたちとの関係作りで悩んでいるので
- 親子とも一緒に考えるいい機会となりました。
- これから研修のことを考えていくので持ち帰りたい。
- ふれあいは親子同志、子ども同志でも大切だと思った。
- 参加して聞くだけで終わることが多いが、これなら必ず一言は話が出来た。
- 自分自身の相談や子育ての困ったことを話せてすっきりしました。

5、今後研修したい内容

- 同様の研修
- 発達障害
- 2～3時間ではなく1日かけた研修
- 食生活の乱れと心のバランス
- 県内の薬物使用の実態
- 防災訓練
- 体力と学力のつながりについて
- スポーツ関係
- 他校の色々な取組みを紹介してほしい
- これからのPTA

- 子どもの成長過程における感情の変化
- PTAとしての子どもの関わり方、教職員とのかかわり方、保護者とのかかわり方
- ICTの活用と問題
- 子どもの病気について
- 子どもの想像力・判断力をいかに育てるか
- コミュニケーションの取り方
- 研修会を企画しないといけないので幅広い講師や研修内容を希望。
- 希望はないが他の学校の保護者・職員と交流できる研修

6、研修会全体を通して

- 良い機会をいただきありがとうございました。
- エアコンが効きすぎ
- 早朝からの準備お疲れ様でした。
- 参考になり分かりやすかった。
- 名札は不要
- 名札のひもが長すぎる。
- 今後もこういった研修に参加したい。
- 県Pの取り組みがよくわかり勉強になった
- 講演中の役員の話し声が気になった。(第2分科会)
- プレゼンの資料が全部でなくても白黒でも欲しかった。(第1分科会)
- パソコンの立ち上げやケーブルのつなぎ直しなどバタバタ感があつた。(第1分科会)
- スポットライトは発表者にもしてほしかった。(第1分科会)
- 参加人数と資料の数が違っていた。
- 参加型は良いと思います。
- 発言がないと言われほっとしました。
- 忘れていたことに気付いてよかったです、
- 内容時間配分ともによかったです。(第2分科会)
- グループ内で本音で話が出来たのが良かった。役員・親として頑張りたい。(第3分科会)
- 何気に使っているLINEが再確認できてよかった。
- 子どもに何か伝えるためにはまずは親が知ること、保護者を巻き込んでどう運営するか
- 講演を聞くだけでなく他行とのコミュニケーションが取れてよかった。
- メディアやインターネットは親も勉強しコミュニケーションの課題と重要性を学んだ。

平成28年度PTA指導者研修会 開催要項

【PTA指導者支援事業（中部会場）】

1 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題を踏まえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各単位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

2 日時・場所

日時：平成28年6月25日（土）9:30から12:00

場所：倉吉体育文化会館（中研修室）

3 日程

9:00 9:30 10:00 12:00 終了

受付	開会行事・施策説明	テーマ別研修会	閉会
----	-----------	---------	----

4 参加対象

○中部地区 小・中学校 各単位PTA役員3名程度

※分科会会場収容人数の関係上、単位PTAで申し込む際、どちらかの分科会希望人数が0人とならないよう人数調整をお願い致します。

5 内 容

(1) 開会行事・施策説明／中研修室

○主催者あいさつ

○施策説明（鳥取県教育委員会中部教育局）

(2) テーマ別研修会

■第1分科会／中研修室

○テーマ：LINEのご紹介と、子どもがインターネットを利用する際の注意事項

○講師：LINEより派遣

○内容：無料通話アプリ「LINE」をご使用になっていない方にも理解できるよう、前半はLINEに関する機能やリスク対策、青少年を取り巻くインターネットの現状、子どもをインターネットトラブルから守るために有益となる情報や注意すべきポイントをお伝えする講座です。後半はワークショップとし、周りの人との考え方や感覚の違いを実感させる複数のテーマについてとりあげ、ディスカッションを通じ、インターネットとの上手なつき合い方や適切なコミュニケーション方法を一緒に考えてみましょう。

■第2分科会／研修室1

○テーマ：あなたは子どもにどんな言葉をかけますか？（仲間づくり）

○講師：県教育委員会人権教育課よりファシリテーター派遣

○内容：子ども：今日、「いじめ」について授業があった。なんかよくわかんないけど、急に無視されて・・・結局死にたいと思うほどになっていく。そんなふうになったらこわいなあ～。いじめはよくないってわかってるけど、本当は関わりたくないな。いじめを見ても自分は何もしないかも・・・？ こんな話を子どもがしてきたら、あなたならどんな言葉をかけますか？身近な事例をもとに、子どもたちの現状となる背景を探り、子どもたちに寄り添うことができるよう、大人として何ができるかを一緒に考えてみましょう。

平成28年度PTA指導者研修会 参加者アンケート集計結果及び反省

【PTA指導者支援事業（中部会場）】

- ・ 第一分科会 LINE 講演とワークショップ
前半は最新の話題を盛り込みながら、都度、参加者の疑問に答える形で、LINEの機能・使い方、現状の問題、それについてのLINEの取組等を講演いただいた。
後半はワークショップとして、カードを使ってゲーム要素を取り入れながら、ネット上のコミュニケーションと対面でのコミュニケーションの違い等を学んだ。
- ・ 第二分科会 人権教育プログラム ワールドカフェ
ある日の子どもとのなにげない会話を題材にして、その後の会話・対応等、参加者それぞれの思い・意見等を出し合い、ワールドカフェ形式で多くの人の考えを聞くことによって、いろいろなことに気づくことができた。
- ・ 分科会のテーマについては約100%が肯定的、概ねニーズの高いテーマ選択ができた。
- ・ 各単Pでの活用については約92%が肯定的、単Pでの研修に活用したいとの意見もあり。
- ・ 今後受けた研修については、PTAの意義・あり方等の研修をとの声がある。
- ・ 参加型の研修を取り入れることで参加者の満足度が上がっている。
- ・ ワールドカフェ形式の研修が今回初体験という方が多く、いろいろな話が聞けると好評だった。
- ・ 研修の内容等が良かったのか、時間が足りないという意見多くあった。
- ・ あらかじめグループ分けをしていたので、研修がスムーズに進んだ。
- ・ 前年度役員の協力もあり、準備、進行がスムーズにできた。

1 学校区分

- ① 学校 ② 中学校

2 参加分科会

- ① 第1分科会 ② 第2分科会

	小学校	中学校	回収計	参加者数
第1分科会	24	15	39	40
第2分科会	29	12	41	43
計	53	26	80	83
率	63.9%	31.3%	96.4%	%

(全体会参加83人)

3 分科会について

(1) 分科会のテーマについて

- ① 良い ② おおむね良い ③ あまり良くない ④ 良くない

	良い	おおむね良い	あまり良くない・ 良くない
第1分科会	37	2	0
第2分科会	29	12	0
計	66	14	0
率	82.5%	17.5%	0%

(理由等)

【第1分科会】

- ・興味深い内容でした。
 - ・新しいことを多く理解できた。LINEを通じてコミュニケーションについて再確認できた。
 - ・LINEの考え方が大変よく理解できた。
 - ・使っていてもまだ知らない事を知れました。
 - ・三朝での講演も聞いたのですが、さらに改善されていて大変勉強になりました。
 - ・今まで使用はしていたが、分からないところもあったから。
 - ・気づきがありました。
 - ・日々使うLINE、人と自分は違う、まずそれを前提に活用したいと思った。
 - ・身近なテーマに沿っての研修であり良かった。
 - ・LINEについて分かりやすく、大変考えられたシステムなんだとおもいました。もう少し時間があれば、グループの人の考えも共有できる時間があったかも・・・
 - ・LINEをしたことがありませんでしたが、仕組みがとてよくわかりました。相手の思いを汲み取っていくって、なかなかむずかしいですね。
 - ・今まさに問題になっている事なので、興味をもって聞けました。
 - ・学校での対応、学習が必要だと思っていたから。
 - ・興味ある内容だった。
 - ・わかりやすく楽しく理解できた。
 - ・LINEの会社の方ということで、とてもわかりやすく面白い内容でよかったですと思います。
 - ・子どもにどう説明したら良いか、とても参考になりました。
 - ・時代に合っているから。
 - ・LINEはこわいものだ、イジメにつながっているような事例をあげた研修とは違って、なるほどと思えることが多かったので良かったと思います。
 - ・気になることだから。
 - ・利用していない事なので情報が少なかった。出席した事により色々な事が知る事が出来よかったです。
-
- ・LINEのことがよく分かりました。
 - ・参加型でわかりやすかった。
 - ・LINEの会社の人の説明なので、本当の事がわかってよかった。
 - ・身近な話で、とてもためになった。
 - ・話が上手で分かり易かった。LINEの上手な使い方をもっと考えたい。
 - ・興味のあるテーマだったので参加したが、期待以上の内容でためになった。
 - ・全くLINE等使っていないので、参考になった。
 - ・LINEについていろいろわかりました。
 - ・とても勉強になりました。分からなかったところが分かりました。
 - ・とてもよく理解できました。とても時間が短く感じました。ありがとうございました。
 - ・現実的に役に立つと思った。
 - ・LINEを全くしたことがなかったのですが、「知らない」から不安だったことが「知る」ことで、とっても便利なものとよくわかりました。使い方ひとつで良くも悪くも・・・。良く使いたいです。

【第2分科会】

- ・色々な人の意見が聞けて、とても参考になりました。
- ・ただ聞くだけでなく、他の小中学校の方々と意見交換が出来てよかった。
- ・結論は置いておいて、話し合う場は良いと思う。
- ・いろいろな意見が聞けて良かったです。
- ・「いじめ」というテーマより、ワールドカフェ形式の体験が主になっていた感はあるが、話しやすい。
- ・答えが見つからない内容について、たくさんの方の意見を聞き、交換するというカフェ型というのがとてもよかった。緊張感も持ちつつ新しい意見をもらうたびに、なるほど、こんな意見もあるのかと。いじめはとても難しい問題ではあるが、身近に起こりうることなので、家庭でも話をしたいと思いました。
- ・具体的で自分が当事者になった時に、どんな風に接していけばよいか、いろんな意見が聞けてよかった。
- ・くり返し自己啓発も含めて学ぶべきテーマなので良かったです。
- ・新情報
- ・しっかり話し合いの時間がとってあり、みなさんの意見が聞けてとても参考になりました。
- ・日常起こりえる内容だったのでとても勉強になりました。
- ・誰もがいじめられる側、いじめられる側になる可能性があり、双方にどう向き合うのかの大切さを知りました。
- ・多くの保護者の意見、思いを聞けて良かったと感じます。今から実践してみたいです。
- ・たくさん意見交換、話し合いができた。
- ・よく考えさせられた。また、人の話を聞くことにより、そういう考え方もあるんだなあと。
- ・色々と考えさせられる事もあり、とても勉強になりました。いろんな意見が聞けて良かったです。

- ・会話がたくさんでき、終わるころにはグループの方と仲良くなれた。
 - ・身近におこるテーマだったので勉強になりました。たくさん意見が聞けて良かった。
 - ・現実的な内容で、深く考える事ができた。
 - ・今の親にとって、仲間作りをしながら意見交換（手法）することが合っている。
 - ・参加者が当事者として活発に意見が言いやすいテーマであったから。
 - ・たくさん意見や思いが聞けたので。
 - ・どの家庭でも当事者になりうるテーマだから。
 - ・答えがないというところが難しいなと思いました。
 - ・いろいろな意見があるなか、皆で解決策を話し合いで気づいてく点よかった。
 - ・深刻になりがちなテーマだったけど、このスタイルだと話し合えるのでよかった。
-
- ・常にある問題、テーマだから。
 - ・「いじめ」という両立場の可能性のある親のすべきことを、振り返ることが出来たため。
 - ・色々な立場での意見が聞けて良かった。親もまず学ばなければ子どもにアドバイス出来ないとおもった。
 - ・自分の意見や他の方の意見の違いがあり、いろいろ発見することがありました。
 - ・皆に共通するテーマだから。
 - ・色々な学校のお父さんお母さんと話せて、色々な意見が聞けた。
 - ・沢山の意見が聞けたから。
 - ・身近なテーマだから。
 - ・たくさんの方の意見を聞く事ができ、参考になりました。
 - ・「いじめ」をなくすというのは、人間社会がもっと成熟しない限りなくなならないかもしれません。それくらい身近な問題だから。
 - ・子どもにとって最重要テーマであるから。

(2) 本日の研修内容を各学校で活用しようと思われませんか。

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまり思わない ④まったく思わない

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない・ まったく思わない	回答なし
第1分科会	30	8	0	1
第2分科会	17	19	3	2
計	47	27	3	3
率	58.7%	33.7%	3.8%	3.8%

(理由等)

【第1分科会】

- ・LINEは子どもより大人の方が知らない事が多いと思うので。
- ・子どもへの対策よりも、まずは大人が正しい情報を持つことが大切だと思ったから。
- ・同じ研修を他の保護者や児童にもうけてもらいたい。
- ・子ども達にも知ってほしい。
- ・さらにLINEの理解が深まるから。
- ・楽しくできたので。
- ・学校でもインターネットについて保護者向けの研修があるが分かりづらい。こんかいの研修内容はすごく分かりやすかった。
- ・保護者や子ども達に、興味をひく内容だと思います。
- ・とってわかりやすく、ずっと興味深く聞く事が出来ました。子どもにも他の保護者さんにも聞かせてあげたいです。
- ・LINEについて深く知る事ができ、自分自身も良かったし、知りたいておられる方も多いと思う。LINEについて誤解しておられる方や悪いイメージを持っておられる方の意識も変わると思う。
- ・コミュニケーションという考え方で学習できるし、いまの子、親、先生に必要なと思う。言葉の問題、受け止め方の問題、相手を思いやることなど。
- ・保護者向きのいい研修であるため、子どもにもやってもらいたい。
- ・少人数学校なので難しいかも？
- ・悪いイメージが強いが、正しい知識を得られると思うから。
- ・私は小学校のPTAなので、まだ早いかな。中学くらいからしてもらいたいと思いました。

- ・子ども達にも保護者にも聞いてもらいたい内容でした。
- ・LINEの宣伝に来てしまった。
- ・広報部として広報誌へ内容を記事、その他として取り入れる事を検討したい。

- ・インターネットのわからないことが、わかりやすかった。
- ・今の大きな話題だから。
- ・指導的立場という限定ではなく、単Pの保護者にも聞いてほしい。
- ・LINEの話を生徒や保護者に聞いて欲しいから。
- ・ワークショップで大切な事を再認識できて良かった。是非単Pでもやってみたいと思った。
- ・体験しながらできる。
- ・他の保護者、子ども達にも聞かせてやりたい。もっともっと詳しく聞きたいと思いました。
- ・本日は参加させて頂いて本当によかったです。是非この情報を持ち帰り学校での研修を実現したいと思いました。
- ・大栄中はやらせていただきます。楽しみです。子ども達にも保護者にも是非聞いていただきたいです。

【第2分科会】

- ・内容というよりは、何かのテーマでワールドカフェ方式を取り入れることはいいなと思います。
 - ・会が始まる頃の自分の考えと、終了した後の考えが明らかに変わっているから。いろいろな考えが聞く事が出来て、おもしろかった。
 - ・仲間作りは学校だけでなく、社会でも大切な事なので、是非たくさん保護者さんに聞いてほしいと思いました。
 - ・もっとすばらしい学校になってほしいから（地域全体で活性化したいから）
 - ・どうしてかはうまく言えませんが、活用したいから。話し合い、こういう研修会をしたのでは・・・？
 - ・人権についての話し合いは大変重要だと思っています。
 - ・今日の内容を活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。
 - ・保護者同士で話し合う時間が取れるから。
 - ・沢山の方のいろんな意見が聞けるので、とてもいいと思います。
 - ・どの家庭でも当事者になり得るテーマだから。
 - ・皆が自分の意見を言う、皆の意見を聞くということはとても大事で、その中で自分の考えも深まったり定まったりしていく事は良いことだと思いました。
 - ・人権部と相談しながら考えていきたい。
 - ・内容からして、時間内では十分に話し合えない。内容が深すぎる。
 - ・ややそう思う。ただし、全家庭参加型にしないと、小規模校では難しい。
 - ・南小のPTAは、学校統合という大きなテーマを抱えているから。
 - ・最終的には各個人の考えなので。
 - ・全体での活用ではなく、学級単位などでやってみたいと思う。
 - ・その立場でない。
 - ・そこまではまだ考えてないです。
-
- ・ワークショップ型の話し合いは楽しいし色々な人の意見が聞けるので世界観が広がりました。
 - ・ワールドカフェ形式を全保護者対象で実施予定。
 - ・何かの形で取り入れていけたらと思う。
 - ・いじめの問題は重要である。
 - ・どのPTAにも「いじめ」に関する課題はかかえていると思うから。
 - ・条件が許せば研修会でやれるといいです。
 - ・グルーptークがあると、話した事のない方とも会話できるので良いと思いました。
 - ・いじめの問題は身の回りであるため。
 - ・知った人ばかりだとあまり言いにくいような気がする。

4 今後、研修を受けたい内容等があれば記入してください。

【小学校】

- ・ネット関係
- ・いじめの問題
- ・「PTA」って必要なのか？
- ・コミュニケーションのとり方
- ・子どもの自尊感情を高める

- ・子どもの心理的発達とその対応
- ・今回同様の意見交換の場所はあった方が良くと思う
- ・いじめをなくす方法論
- ・「いじめ」PartⅡ

【中学校】

- ・宇宙産業関係者
- ・PTAの温度差、これからのPTA
- ・今日の様なワールドカフェスタイルだと参り感が得られて良くと思う
- ・食育の事

5 本日の研修全体をとおしてお気づきの点があればご記入ください。

【第1分科会】

- ・いつもタイムリーな話題を提供していただいて、ためになる研修会だと思います。
- ・興味のある研修で有意義だった。
- ・楽しくうけさせてもらいました。子ども等に伝えたいと思います。
- ・盛りだくさん過ぎて、時間が足りなかった。
- ・LINEは悪いものだと子どもから遠ざけるのではなく、適切な使い方などを一緒に考える事が良いと気づいた。
- ・知らないことが勉強できて良かった。
- ・毎年この時期になる指導者研修会ですが、年間の事業がほぼ決まっている時期なので、なかなか取り入れにくいのが問題です。ありがとうございました。
- ・時間がタイトだった。
- ・お世話になりました。

【第2分科会】

- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・知らない保護者さんと掘り下げた話が聞けてよかったです。
- ・ありがとうございました。
- ・時間区分がちょっとあいまいだったり、話が出来なかったりしたので、少し残念だった。
- ・ワールドカフェをして、たくさん意見が聞けてとてもいい勉強になりました。
- ・特にありません。良い研修をありがとうございました。
- ・実際にあった事例が聞けたので為になった。
- ・皆が自分の意見を言う、皆の意見を聞くということはとても大事で、その中で自分の考えも深まったり定まったりしていく事は良いことだと思いました。
- ・他の行事と重なっていました。調整ができればしていただきたい。
- ・授業でもワールドカフェスタイルをしたらいいかなと思います。
- ・ワールドカフェを体験できたことが収穫。
- ・活発な発言が多く、為になりました。
- ・親も同時にいじめについての勉強をしていく事は大切だと思いました。
- ・みなさん積極的に話をされて良かったです。
- ・皆さん単Pの指導的立場におられる方々なので、それぞれ自分の意見をしっかり持っておられて流石だと思った。
- ・ありがとうございました。
- ・はじめてワールドカフェを体験しました。「なるほど」と目からウロコの意見も聞くことが出来ました。よりたくさん意見が聞けたので、ワールドカフェはいいなあと思いました。
- ・とても良かったです。
- ・皆さんが意見を出し合え、とても良い研修となりました。ありがとうございました。

以上

平成28年度PTA指導者研修会 実施要項

【PTA指導者支援事業(西部会場)】

1. 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題をふまえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各单位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

2. 主 催 鳥取県PTA協議会

3. 期日・会場

平成 28年 6月18日(土) 9:30~12:00 米子コンベンションセンター

4. 参加者 西部地区 小・中学校 各单位PTA役員 2名以上 (毎年実施している本研修に未参加の方が望ましい)

5. 日 程

9:00	9:30		12:00
受付	開会	分 科 会	閉会

6. 研修内容(予定)

分科会

- ① 人権教育プログラム説明 鳥取県教育委員会 人権教育課
係長 寺谷孝志 氏

第一分科会(活動推進)

「LINE - 安心安全なネット利用」

講 師: LINE株式会社より派遣

内 容: 講演+ワークショップ

前半は LINE に関する機能やリスク対策、青少年を取り巻くインターネットの現状、子どもをインターネットトラブルから守るために有益となる情報や注意すべきポイントをお伝えする講座です。後半はワークショップとし、周りの人との考え方や感覚の違いを実感させる複数のテーマについてとりあげ、ディスカッションを通じ、インターネットとの上手な付き合い方や適切なコミュニケーション方法を一緒に考えてみましょう。

- ② 第二分科会(広報部会)

「広報紙の作成手法」

講 師: 新日本海新聞社西部本社編集制作局長

澤田圭太郎 氏

内 容: 県P優秀作品講評+質疑応答

平成28年度PTA研修会アンケート結果の概要(西部会場)

アンケート回収状況

アンケート回収状況としては参加者112名のうち101名から回答がありました。

活動推進	56 名	84.848 %
広報部会	45 名	97.826 %
合計	101 名	90.179 %

1) 学校区分について

参加者は60名が小学校、52名が中学校でした。(詳細は下記の通り)

活動推進	小学校	33 名
	中学校	33 名
	合計	66 名
広報部会	小学校	27 名
	中学校	19 名
	合計	46 名

2) 参加分散会 (申込み数に対して参加者数)

活動推進66名、広報部会51名計117名の申込みがありました。

それに対して参加者は	活動推進	66 名	100 %
	広報部会	46 名	92 %
	合計	112 名	99 %

3) 分散会

1 内容について

活動推進	良い	45 名
	まあまあ良い	10 名
	あまり良くない	1 名
広報部会	良い	35 名
	まあまあ良い	6 名
	あまり良くない	1 名
活動推進	是非活用したい	37 名
	今後検討したい	16 名
	活用は難しい	3 名
広報部会	是非活用したい	27 名
	今後検討したい	16 名
	活用は難しい	2 名
全体	是非活用したい	64 名

	今後検討したい	32 名
	活用は難しい	5 名

2 本日の研修内容を各学校で活用するかどうか

活動推進	是非活用したい	24 名
	今後検討したい	30 名
	活用は難しい	2 名
広報部会	是非活用したい	27 名
	今後検討したい	16 名
	活用は難しい	2 名
全体	是非活用したい	51 名
	今後検討したい	46 名
	活用は難しい	4 名

理由

活動推進小学校

是非活用したい

- ・ 分かり易かった。
- ・ 1つのネタとして良い。
- ・ 話がわかりやすく子どもたちでも理解しやすい。情報ツールの利用のしやすさ、反面危険性、言葉の取り方など色々することが出来るし新たに気づくことが出来る。
- ・ LINEの機能やネットの特性を理解して皆で共有して子どもたちが安全安心に使えるように工夫していきたい。

今後検討したい

- ・ LINEのことが詳しくわかった。どんなトラブルが起こりどうやって防ぐことが出来るかわかってよかった。
- ・ LINEをしてないが良くわかった。また同じ言葉でも人によって捉え方が違うことが実感できた。
- ・ LINEについて知ってるようで知らないことがけっこうあった。
- ・ ワークショップが参加型でよかった。
- ・ ネットの特性を正しく理解した上でコミュニケーションの取り方を考え子どもに安全を自主的に考えてもらえるようにしたい。
- ・ 悪い部分ではなく良い部分を将来的に有効に活用出来るようにしたい。
- ・ LINE使ったことのない方は良かったが使いこなしてる方はどうだったか？
- ・ 活用したいが他の人の意見も聞きたい。
- ・ 執行部会で検討したい。

活用は難しい

- ・ 先生が来てくださる、または同じ内容をしてくだされば可能だと思う。

活動推進中学校

是非活用したい

- ・ 単位PTAで講演してほしい。
- ・ 自分と相手との認識の違いがあることを知って欲しいから。
- ・ 子どもも大人も正しく理解しないといけないから。

今後検討したい

- ・ どんなりスクがあるかを考えながら上手に使わせることを身に着けさせるのが大切。
- ・ 家や学校でカードを使ったワークショップやってみたいです。
- ・ とても必要なことなので生活指導部と検討します。
- ・ 保護者、生徒に正しくいろんなことに気を付けてLINEやネットを利用してもらいたい。
- ・ とてもわかりやすかったから。
- ・ 子どもたちの中でLINEでのトラブルが実際ある事を聞いたから。

活用は難しい

- ・ なし

広報部会小学校

是非活用したい

- ・ 現役の新聞記者の方から各学校の広報紙を見た感想、アドバイスが聞けて、今後発行するにあたって違った内容を取り入れていこうと思った。
- ・ 写真の撮り方やタイトル・サブタイトル、記事への導き方を学びました。テーマを決めるだけでは作り手しかわからないので、初めて記事を目にした人でも入り込みやすい記事作りをしたい。
- ・ 広報紙を作るうえで非常に参考になった。
- ・ 基本的な知識がついた。これを参考により良い広報誌にしたい。
- ・ プロの人のアドバイスが非常に有効でした。他校の事例を豊富に紹介いただき、参考になりました。
- ・ 広報について全く知らず、情報は子供の学校の広報紙のみでした。今回、他校の広報を知ることをでき作る時の参考になると思いました。
- ・ 他校の企画等とても刺激になりました。
- ・ 受賞紙の世には行かないが、参考にできる部分は使っていきたい。
- ・ 他校の方法の紙面や記事、大変参考になり持ち帰りたいと思う。
- ・ とても役立つことをたくさん教えていただいたので、少しでも多く取り入れて活用できたらいいと思う。
- ・ 個性的な内容やデザインなど、とても参考になった。
- ・ 他校の広報紙を見て参考にしたいと思った。見出し、レイアウト等、今後の参考にしたい。
- ・ いますぐ活用できそうな(したくなる)内容だったため参考になった。

今後検討したい

- ・ 年3回の広報誌発行で、毎年部員も変わるので、今の形を大きく変えることは難しいと思われる。ただ、簡単に取り入れられるものは活用したい。
- ・ 直接の広報部員ではなかったので、研修内容を直接活かしていけるかは難しいと思うが、次回の広報部会に出かけて、今日聞いたことを伝えたいと思う。できれば素材に使われた広報誌を手元に配ってほしかった。
- ・ 活用したいが、PTAの広報部員も忙しい中参加しているので、負担が大きくならないようにしないとイケない。それとのバランスなので、研修したことをすぐに活用できない。活用できるところは活用したい。

活用は難しい

- ・ 当校の広報紙は簡単なものであり、充実した内容のものは部員の負担が多く、PTA会員より賛同を得ることができないため。
- ・ そもそもPTA広報紙とはなんぞやと思いますか？報償を受けた広報紙の好評を説明される新聞社の方は先行された方ですか？でなければ表彰の意図が分かりません。同じように構成したいとは思わない。

是非活用したい

- ・ 写真の撮影について参考になった。
- ・ 3日後に7月中旬に発行のための公正を行う。広報部会で部員さんと一緒に確認する具体的な項目が分かって良かった。
- ・ 読んでもらえるような紙面づくりにしていきたい。
- ・ 文字や絵で人に伝えるという事は、誰でも何らかの場面で必要になることだと思う。
PTAとしての研修ですがいろいろ応用できる。このような研修は良いと思う。広報に限らず役立てたい。
- ・ 初めて広報係るもので、知らない事ばかりでとても参考になった。
- ・ 記事を作るためにいろいろな話が聞けて良かった。
- ・ 広報紙の作成が形式的になってしまっているの、何か目的を持って発行していきたい。
- ・ 自分が広報部の役割を十分理解できていないため、少しでも知識を得ることができた。
- ・ これからの広報紙作りのヒントを得ることができた。

今後検討したい

- ・ 今の広報紙は主に写真が多く、取材をしたりアンケートを取ったりという事はあまりしていません。
今後、取り入れられたらと思います。
- ・ なかなか特集(詳しい内容)ができないのでマンネリ化しています。今回の件を聞いて検討したいと思う。
- ・ すごく素晴らしい工法があり、正直びっくりしています。ただ、慣れていない人での作業と、限られた時間での作業は、ここまで深く入り込んだ広報ができるかは今の現状では難しい。ですが、少しでも手被けることができるはずですので参考にしていきたいです。
- ・ 表紙(インデックス・見出し)の構成で、その号のイメージ、内容を印象づける工夫が大切だと感じた。
学校の特色、エリア色を出す工夫も必要だと思った。
- ・ 広報紙のみに限らず、他人に伝えたい内容をどう表現するか、仕事へも活用できると考えます。
また、子供への授業にも講師としてお越し頂きたい。

活用は難しい

- ・ なし

4) 今後の開催について

1 本日の研修を来年以降の開催希望かどうか？

活動推進	是非希望する	26 名
	出来れば希望する	39 名
	あまり希望しない	1 名
広報部会	是非希望する	21 名
	出来れば希望する	20 名
	あまり希望しない	1 名
全体	是非活用したい	47 名
	今後検討したい	59 名
	活用は難しい	22 名

2 今後研修したい内容はどのようなことか？

活動推進小学校

- ・ 保護者の親睦を深めるための研修
- ・ メディア、ネットゲームに関するもの
- ・ 上手な片付けの方法
- ・ 学校やPTAにどうやったら参加してもらえるか
- ・ いじめ問題

活動推進中学校

- ・ ツイッターのしくみ課題など
- ・ 各PTA間での悩みの共有
- ・ 保護者が勉強になるようなこと

広報部会小学校

- ・ 大人の人間関係、付き合い方。モンスターペアレンツとの向き合い方。PTAをまとめる方法。より良い人間関係構築について。
- ・ 学校によっては毎年役員が変わるので、是非毎年実施してほしい。実際に記事を掻いたり推敲したり写真レイアウトを考えるなどのワークショップがあると更に面白い。
- ・ 全小中学校それぞれの広報紙の好評を聞きたい。
- ・ 上位の学校の皆さんの話を聞きたい。(アンカーは誰が務めるのか？部員はどこまで協力してもらえるのか等)
- ・ 毎年担当が変わり、この6月頃は活動始めなので即繋がります。新担当としても安心します。
- ・ プロの方が分かりやすく注意点を教えてくれるのはとても大事な事。役に立つかどうかは分からないが知ると知らないとは大違い。賞を取った広報部の方のやり方の話を聞いてみたい。
- ・ 広報紙のレイアウトについて。
- ・ 単Pでの広報の活動状況について。
- ・ 執行部の運営、あり方について。
- ・ 具体的課題についてグループワーク的な話し合いをしたい。
- ・ 新聞と広報紙は同じ読み物ですか？選考された方の好評で研修をお願いしたい。ない。でなければ開催しても意味が

広報部会中学校

- ・ 本年のようにプロの編集者による入賞作品のコメントはとてもわかりやすいので企画を続けてほしい。
- ・ 各広報紙が手元があればよい。
- ・ 参加者から各学校での取り組み方法や問題点を話し合える時間があっても良いと思う。

7 研修全体を通して気の付いた点

活動推進小学校

- ・ 役員の方々設営お疲れ様です
- ・ インターネット講習みたいなテーマがぼやけたのではなく今日のように1つにテーマを設けてよかった

- ・ 学校や家庭に持ち帰り易い活用しやすい研修でした。
- ・ とても楽しい研修会でした。
- ・ 必要な研修でした。
- ・ 非常にためになりました。これからも続けてください。
- ・ グループ討議の時間がもっと欲しかった。

活動推進中学校

- ・ やはり子どもにはケータイ・スマホを持たせるべきではない。
分かり易く楽しい研修会でした。
- 講演会の机・椅子の配置(後ろ向き)が良くなかった。
- 質疑の時間がもう少し欲しかった。
- LINEは怖いイメージがあったが正しく使用方法がわかってよかった。

広報部会小学校

- ・ 今後に生かすためにはもう少し資料が欲しかった。学校によっては当事者でない場合もあるので、配慮して欲しかった。
- ・ プロの視点で話が聞くことができ楽しい研修だった。
- ・ なかなか受賞紙のような紙面づくりはできないので、この研修が役に立つかはよくわからない。
- ・ 受賞した学校の広報紙を見本に欲しかった。
- ・ 1学期の入稿が終わったタイミングなので、出来れば新年度早々にやってほしい。
- ・ 開催時期を4月にすることは可能だろうか？役員が変わるタイミングで不安な広報部長も多いと思う。できれば最初の号を作る前に話を聞ければいいと思う。
- ・ 広報部員にも参加を呼びかけたかった。編集の際に参考にしてもらいたいことが数々あった。
今後の編集に役立てたい。
- ・ スクリーンが小さく後ろの席から見えずらい。
- ・ カラーならいいのか？基の企画が良いからなのか？教育的が言いのか？一般の読み手が一番よかったのが知りたい。

広報部会中学校

- ・ 講師の方の話がとても聞きやすかった。
- ・ 60分で1回休憩がほしい。全体の時間が長すぎるかも(9:30~11:30くらいが妥当)
- ・ 話を聞くだけでなく各校の取り組みや問題など、ディスカッションする時間があればよかった。
- ・ 他校の同じ立場の方々と話題や情報が共有できたことが良かった。
- ・ 会場の案内が分かりにくかった。
- ・ 中学校の広報紙の例などがあればいいと思った。今日話を聞いて学校に持ち帰り部員と話したいと思う。